



1 「笑顔いっぱいの啓蒙小学校」 臨時全校朝礼：6月7日（月）

新型コロナウイルス感染による3日間の臨時休業（土日を含むと5日間）が終わり、学校再開の日の朝、WEBを活用して、臨時の全校朝礼を行いました。

みなさん、おはようございます。5日間のお休みを終えて、ようやく学校を再開することができました。とてもうれしいです。

ここで、みなさんに伝えたい、大切なことが二つあります。しっかりと聞いてください。

一つ目です。学校では、みなさんが手洗いをしっかりしたり、マスクを着けたりして十分に感染予防を心がけて生活していたので、これ以上、感染が広がらず、もっとも短いお休みだけで、学校を再開することが

できました。感染予防はとても大切なことがよくわかりましたね。そして、学校の中をしっかりと消毒していただきました。これまでどおり、感染対策を続けながら安心して生活してください。

二つ目です。コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。コロナウイルスは目に見えないこともあり、自分や家族が感染するかもしれない恐怖や不安を感じてしまうのは仕方ないことです。しかし、間違えてはいけない大切なことがあります。それは、私たちがたたかっているのはウイルスだということです。ウイルスに感染してしまった人ではありません。ウイルスに感染してしまった人を責めたり、ウイルスに打ち勝つてもとの生活にもどろろとしている人を避けたりすることは間違ったことです。もし、あなたが感染してしまったことを考えてください。お友達からどんな言葉をかけて欲しいですか。「〇〇さんが感染したらしいよ。こわいね。」でしょうか。「早くなおってね。まってるよ。」でしょうか。あなたは元気になって登校してきました。お休みしていたので、とってもドキドキしています。どんな声をかけてほしいですか。「元気になってよかったね!」「いっしょに遊ぼう」ですよね。感染してしまった人には、思いやりの気持ちをもって、そして、温かく迎え入れてあげてほしいと思います。

コロナウイルスとの戦いは続きます。福井県には、6月18日まで感染拡大注意報が発令されています。これからも、次々と新しいワクチンが開発され、接種が進み、必ずウイルスに打ち勝つ時がおとすれます。これからも気持ちを緩めることなく、感染症を防ぐ取組をがんばりましょう。

先生には夢があります。それは「笑顔いっぱいの啓蒙小学校」をつくることです。そのためにみなさんで力を合わせて、いっしょにがんばってほしいです。全員で「笑顔いっぱいの啓蒙小学校」を目指して、温かい心の輪を広げていきましょう。



55インチのモニターを通して全校朝礼



新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう

この後、各教室では学年に応じて、新型コロナウイルス感染症について学びを深めました。それぞれがしっかりと大切なことに気付いてくれたようです。（裏面に子供たちの感想があります）

2 子供たちの感想より（丸数字は学年です 例：①…1年生）

- ①マスクははずさず、手洗い消毒をしっかりとしたいです。
- ①うわさされたり、悪口を言われたりするととてもいやだし、悲しいです。
- ②コロナになりたくないで、マスクや手洗いや消毒をしっかりとしたいです。みんなで感染しないように、がんばりたいです。もし、よく遊んでる人がなったら「がんばれ」と言いたいです。できたらコロナに勝ちたいです。
- ②敵はコロナウイルスにかかってしまった子ではなく、新型コロナウイルスが敵ということを知ることができました。新型コロナウイルスに負けないためには、これからも手洗い、消毒、換気、体温を測る、規則正しい生活、マスク、うがいをちゃんと守って、ウイルスを倒そうと思います。
- ③福井のコロナ感染者が減ったり、増えたりしているけど、とにかく私たちにできることは手洗いうがいだと思います。世界中に広がっていくコロナとたたかっている私たちは、いつコロナがおさまってくれるか分からないけど、早くおさまってくれることを願っています。
- ③コロナウイルスにももしもかかってしまった子がいたら、声をかけてあげたいと思いました。自分もこれまで以上に手洗いやコロナウイルスの対策を一生懸命やっていきたいと思いました。コロナウイルスにかかっちゃった子がいても、悪口は絶対に言いません。
- ③コロナウイルスに感染した人にいやなことを言うのはだめだと思いました。どうしてかということ、感染した子は何も悪くないからです。「おまえのせいだ」「こわいな」など、この子が傷つくことを言わないようにします。そして、コロナウイルスに感染しないように対策をしようと思います。
- ④5日間、学校が大丈夫かなと不安でいっぱいでした。でも「私たちの敵はウイルス」を読んだり、先生の話聞いて、差別をしないことやウイルスと向き合ってたたかいたいと思います。家族や友達と一緒に不安をくぐらしていこうと思います。
- ④コロナの話聞いて、ふつうの人はコロナとたたかって、コロナに感染した人はいじめや差別とたたかっていると分かりました。かげでこそそと自分の悪いことを言われていると思うといやだなと思いました。コロナに感染しても悪口を言わないで、平和になればいいなと思いました。
- ⑤日頃の感染予防の大切さが改めて分かりました。感染症の病気としてのこわさや感染してしまった人に対する態度、接し方についても、自分は大丈夫だとは思わずに、一人一人が警戒したり、差別や遠ざけることをするのではなく、やさしく接したりすることが大事だと改めて感じました。
- ⑤コロナに感染した人はつらい思いをしていて、その人にいじわるしたり差別したりするのはしないようにします。世界への応援メッセージ：だれがコロナに感染しても、絶対いやな思いはさせない世界をみんなでつくろう!!
- ⑥今の日本に対して、とても不安です。コロナでもそうだし、オリンピックに対しても感染が広がってしまうんじゃないかとこわいです。ワクチンも家族には受けて欲しいけど、何が起きるか分からないので、あまり「とても受けて欲しい」という気持ちにはなれません。早くコロナが静まって欲しいと思うので、手洗い、うがい、早寝早起きを心がけようと思います。
- ⑥私たちの心の中にある恐怖は、人を傷つけてしまうということがあることを知り、こわいと思いました。差別やいじめをしている人をやめさせるのは難しいことだけど、せめて私はいじめや差別をしないように心がけます。いつしか差別をしている人もおかしいことだと気づき、止めてほしいです。みんなが心がけることで世界は救われると思います。
- ⑥コロナウイルス感染症は本当にいつかかってもおかしくなく、身近にあるものだと思います。学校の中にも時々マスクをしていない人もいて、大丈夫かなと思うことがあります。コロナに感染した人にひどいことを言ったりするんじゃないくて、やさしい言葉をかけられるような人になりたいです。いつでもだれにでも大変な人のために寄り添える人でいたいです。